

北勢沿岸流域下水道（北部処理区）

北部浄化センターの維持管理

- (1) 施 設 配 置 図
- (2) 幹 線 管 渠 状 況 図
- (3) 施 設 計 画 と 現 況
- (4) 設 備 概 要
- (5) 処 理 フ ロ ー
- (6) 水 質 管 理 状 況
- (7) 処 理 水 量
- (8) 電 力 ・ 水 道 ・ 薬 品 ・ 燃 料
- (9) 汚 泥 脱 水 処 理
- (10) 施 設 点 検 業 務 の 概 要
- (11) 水 質 試 験 業 務
- (12) 周 辺 環 境 調 査

(2) 北部処理区幹線管きょ状況図 (供用開始延長: 累計延長)

9幹線	管径	300-2,000 mm	総延長	97.3 km(放流きょ2.2km含む)
			(平成23年度 供用開始率	95%=90.3/95.1)

(四日市幹線)

管径 mm	延長 m	S.61年度	62	63	H.1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
700-2,000	23,300		3,642	3,642	3,642	3,642	3,642	4,768	4,708	7,349	10,403	11,675	11,698	11,698	21,337	22,000	23,300
供用開始率			15.6%	15.6%	15.6%	15.6%	15.6%	20.2%	20.2%	31.5%	44.6%	50.1%	50.1%	50.2%	91.6%	94.4%	100.0%

(朝日幹線)

管径 mm	延長 m	H.1・2年度	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
700-1,000	12,700	2,088	2,088	2,088	2,088	3,554	3,554	3,554	3,614	3,614	5,300	6,358	6,358	6,457	6,817	11,815	12,700
供用開始率		16.4%	16.4%	16.4%	16.4%	28.0%	28.0%	28.0%	28.5%	28.5%	41.7%	50.1%	50.1%	50.8%	53.7%	93.0%	100.0%

(桑名幹線)

管径 mm	延長 m	H.1年度	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
350(2条)-2,000	15,900		6,212	6,212	6,212	7,194	7,194	7,194	7,194	14,304	14,304	15,900
供用開始率			39.1%	39.1%	39.1%	45.2%	45.2%	45.2%	45.2%	90.0%	90.0%	100.0%

(菟野幹線)

管径 mm	延長 m	H.10年度	11	12	13	14	15	23
450-800	7,100			2,086	2,086	2,865	3,203	3,203
供用開始率				29.4%	29.4%	40.4%	45.1%	45.1%

(川越幹線)

管径 mm	延長 m	H.10年度
600-700	800	800
供用開始率		100.0%

(東員幹線)

管径 mm	延長 m	H.6年度	7
1,150	500		500
供用開始率			100.0%

(北勢幹線)

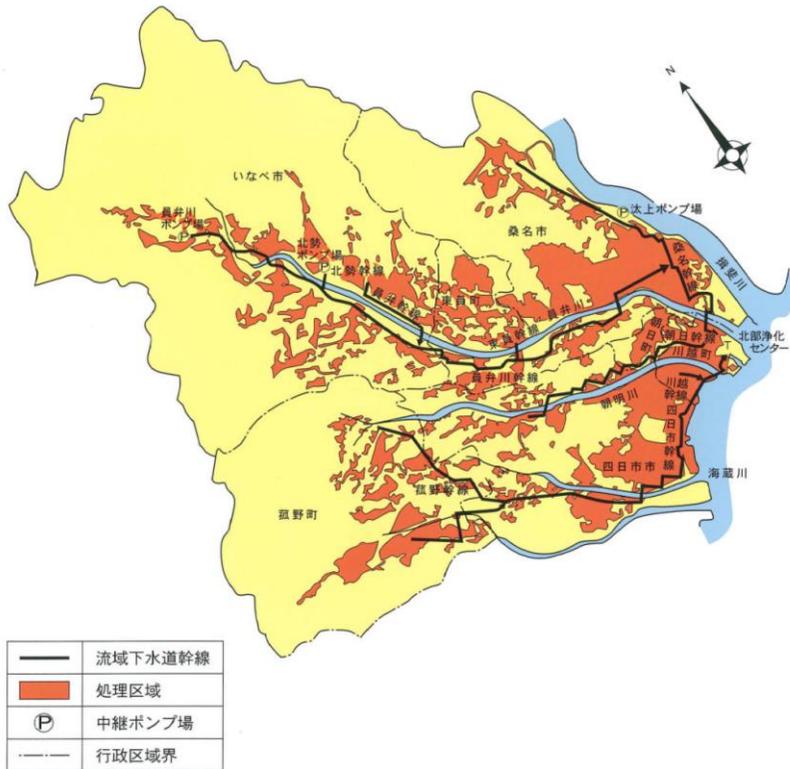
管径 mm	延長 m	H.10年度	11
350	800		800
供用開始率			100.0%

(員弁幹線)

管径 mm	延長 m	H.7年度	8	9	10	11	12
800	4,500		866	1,854	2,720	3,821	4,500
供用開始率			19.2%	41.2%	60.4%	84.9%	100.0%

(員弁川幹線)

管径 mm	延長 m	H.3年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
300-1,500	28,600		3,301	3,301	9,680	15,188	24,249	24,294	24,294	26,868	27,174	28,600
供用開始率			11.5%	11.5%	33.8%	53.1%	84.8%	84.9%	84.9%	93.9%	95.0%	100.0%



(3) 施設計画と現況

形状区分 名称		形状寸法	全体計画	平成23年度現在		
				土木建築	機械電気	摘要
スクリーン		水路巾	4水路	4水路	4水路	
主ポンプ		34.5 m ³ /min × 270kW 69.0 m ³ /min × 450kW 69.0 m ³ /min × 520kW	2台 1台 2台 (内1台予備)	1棟	34.5 m ³ /min × 2台 (230kW) 69.0 m ³ /min × 3台 (450kW、520kW)	
最初沈殿池		L27.0 × W16.4m × 有効水深 3.0m L12.0 × W17.6m × 有効水深 3.0m L12.0 × W 8.8m × 有効水深 3.0m L16.5 × W18.4m × 有効水深 3.0m	休止 4池 8池 8池	2池 4池 8池 2池	2池 4池 8池 2池	
エアレーションタンク		L51.6 × W8.6 × 有効水深 5.7m L75.4 × W9.1 × 有効水深 5.7m L91.2 × W19.5 × 有効水深 5.5	休止 16池 8池	4池 16池 2池	4池 16池 2池	
最終沈殿池		L38.0 × W16.6m × 有効水深 2.5m L29.3 × W17.6m × 有効水深 3.5m L32.4 × W8.8m × 有効水深 3.5m L42.0 × W18.4m × 有効水深 3.5m	休止 4池 8池 8池	2池 4池 8池 2池	2池 4池 8池 2池	
次亜塩素酸ソーダ貯留槽		1 m ³ × 2槽 6 m ³ × 2槽 11 m ³ × 2槽	6槽	1棟	1 m ³ × 2槽 6 m ³ × 2槽 5 m ³ × 1槽	
放流ポンプ		17.5 m ³ /min × 30kW 62.0 m ³ /min × 75kW	1台 3台		8.8 m ³ /min × 2台 17.5 m ³ /min × 1台 36.2 m ³ /min × 2台	
放流渠		L=2,200m 2条管 Φ 1,500mm ~Φ 2,800mm	2,200m	2,200m	—	
汚泥濃縮タンク		Φ 9.0m × 水深 4.0m Φ 15.5m × 水深 4.0m	2槽 2槽	2槽 1槽	2槽 1槽	
機械濃縮		常圧浮上濃縮機 25kg・DS/m ² ・hr 8 m ²	4台	1棟	3台	
脱水機		ベルトプレス ろ幅 3m ろ過速度 130kg/m/hr ろ過速度 160kg/m/hr	8台	1棟	5台 1台	
コンポスト		横型スクープ式 H2.0m × W3.0m × L20m	18槽	—	—	
送風機設備		130 m ³ /min × 200kW 110 m ³ /min × 170kW	4台 5台 (内1台予備)	1棟	65 m ³ /min × 1台 130 m ³ /min × 2台 150 m ³ /min × 1台 15 m ³ /min × 2台 90 m ³ /min × 2台	
自家発電機		ディーゼルエンジン 900PS 発電機 750kVA	5台	1棟	3台	
砂ろ過設備		1,500 m ³ /D~2,250 m ³ /D	4基	—	3基	
中継 ポン プ 場	北勢	ポンプ 予備発	2.8 m ³ /min × 22kW 60.0 KVA × 220V	2台 1台	マンホール	2台 1台
	員弁	ポンプ 予備発	0.67 m ³ /min × 5.5kW 42.5 KVA × 220V	2台 1台	マンホール	2台 1台
	汰上	ポンプ 予備発	5.2 m ³ /min × 37kW 4.6 m ³ /min × 37kW 200 KVA × 420V	2台 1台 1台 (内1台予備)	1棟	2台 3.3 m ³ /min × 1台 (22kW) 1台
幹線管渠		Φ 2,000mm~Φ 300mm	94.1km	90.2km	—	

(4)設備概要

施設	設備	機器名	規格又は仕様	電気容量 (kW)	台数
ス ク リ ー ン 機 備	ス ク リ ー ン 機 備	流入ゲート	W1,200×H1,200 制水扉 電動式バルブコントローラ	5.5	4
		粗目スクリーン	W2,200 有効目幅100mm 取付角度75度 フラットバースクリーン	—	4
		細目スクリーン (自動除塵機)	ダブルエンドレスチェーン式 レーキスクリーン 掻揚速度 3m/min	2.2	4
		No.1スクリーンかす搬出機	シャフトレススクリュウコンペヤ W280×L9.5m 能力4t/h	5.5	1
		し渣洗浄脱水機	スクリュウ洗浄式 W500×L5,500 能力3m ³ /h	5.5	2
		スクリーンかす スキップホイスト	ワイヤーロープ式 10m/min×26m バケット容量0.3m ³	2.2	1
		スクリーンかす ホッパー	ロードセル2点方式 10m ³	2.2×2	1
		機器搬入用 チェーンブロック	3t×11m 手動式ギヤードトロリ	—	1
		角落とし用 チェーンブロック	1t×16m手動式ギヤードトロリ	—	1
		スカム分離機	回転ドラムスクリーン φ 800×w500 3m ³ /min 目3mm	0.75	1
		弁操作用空気圧縮機	48L/min 7kg/cm ²	0.4	1
		ホイスト	巻上横行軌条12m/min×25m 軌幅125mm	2.2 0.4	1 1
		ポ ン プ 機 備	脱 臭 機 備	脱臭装置	薬液洗浄塔(酸アルカリ洗浄漏れ網スクラバー) 処理量105m ³ /min □1,200×H5,800×2塔
脱臭ファン	FRP製ターボファン 105m ³ /min×200mmAq			15	1
脱臭薬液循環ポンプ	350L/min×18m×400V			3.7	2
薬液注入ポンプ	6~60L/min (硫酸用) 12~120L/min (苛性ソーダ用)			0.2 0.2	1 1
薬液貯留槽	FRP製 1m ³ ポリエチレン製 2m ³			— —	2槽 2槽
薬液貯留槽攪拌機	375 rpm			0.2	2
脱臭pH計	酸 アルカリ			—	2
棟 設 備	ポ ン プ 棟 設 備	ポンプ井中間ゲート	W1,400×H1,400 手動制水扉	—	1
		ポンプ井排水ポンプ用チェーン ブロック	1t×13m 手動式ギヤードトロリ	—	2
		汚水吸入弁	手動式 φ 500	—	2
		汚水吸入弁	手動式 φ 700	—	3

施設	設備	機器名	規格又は仕様	電気容量 (kW)	台数	
スクリーンプンポンプ棟	ポンプ棟	汚水吐出弁	電動式バルブコントローラ φ 500 (内手動仕切1)	2.2	2	
			電動式バルブコントローラ φ 700	3.7	3	
	ポンプ棟	汚水揚水ポンプ	立軸渦巻斜流ポンプ φ 500 × 34.5m ³ /min	230.0	2	
			立軸渦巻斜流ポンプ φ 700 × 69.0m ³ /min	450.0	1	
			立軸渦巻斜流ポンプ φ 700 × 69.0m ³ /min	520.0	2	
	ポンプ棟	床排水ポンプ	水中ポンプ φ 50 × 0.2m ³ /min × 19m	2.2	2	
		天井クレーン	手動式 10t	—	1	
ポンプ棟	搬出入用チェーンブロック	10t × 32m 手動式ギヤードトオリ	—	1		
送風機棟	送風機棟	送風機	湿気空気ろ過器	140m ³ /min × 2.3m/s 回転油膜式	0.2	3
			乾式空気ろ過器	140m ³ /min × 2.4m/s 回転巻取式	0.2	2
				140m ³ /min × 2.3m/s 回転巻取式	0.2	1
				140m ³ /min × 2.3m/s 回転巻取式	0.2	1
	送風機棟	送風機	15m ³ /min × 6,400mmAq × 1,740rpm ルーツフロワ	30.0	2	
			65m ³ /min × 6,400mmAq × 17,865rpm ターボフロワ	110.0	1	
			130m ³ /min × 6,400mmAq × 20,065rpm ターボフロワ	200.0	2	
			150m ³ /min × 6,790mmAq × 18,717rpm ターボフロワ	230.0	1	
			90m ³ /min × 6,900mmAq × 29,640rpm ターボフロワ	160.0	2	
	送風機棟	送風機吐出弁	φ 150 電動式仕切弁	0.4	2	
			φ 300 電動式仕切弁	0.4	4	
φ 250 電動式仕切弁			0.4	2		
送風機棟	冷却水ポンプ	0.3m ³ /min × 20m	2.2	2		
	天井クレーン	手動式 2.8t 手動式 3.4t	—	1 1		
水処理設備	最初沈殿池	汚水流量計	電磁式 φ 1,200 0~9,000m ³ /h	—	1	
			超音波式 φ 800 0~4,000m ³ /h	—	1	
	最初沈殿池	初沈流入ゲート	W500 × H500 手動式	—	40	
			W600 × H800 手動式	—	8	
	最初沈殿池	バイパスゲート	W1,000 × H1,000 手動式制水扉 × 2台	—	6	
			W600 × H500 手動式制水扉 × 1台 W500 × H500 手動式制水扉 × 3台	—	—	
	最初沈殿池	初沈汚泥掻寄機	フライト式ダブルチェーンコンベア0.6m/min (1連1駆動)	0.75 × 4	25	
			0.6m/min (2連1駆動)	1.5 × 2		
			(メイン)0.6m/min (4連1駆動)	0.4 × 4		
			(クロス)0.6m/min (1連1駆動)	0.4 × 4		
0.6m/min (2連1駆動)			0.4 × 10			
最初沈殿池	初沈スカムスキマー	空気作動回転式パイプスキマー φ 300 × 8台	0.2 × 48	48		
		電動シリンダー式パイプスキマー φ 300 × 40台	—	—		
最初沈殿池	生汚泥引抜ポンプ	φ 100 × 1m ³ /min × 10m (No.1、2)	3.7 × 2	8		
		φ 100 × 0.6m ³ /min × 14.5m (A41、42)	3.7 × 2	—		

施設	設備	機器名	規格又は仕様	電気容量 (kW)	台数
水処理設備	最初沈殿池設備	生污泥引抜ポンプ	φ 100 × 0.6m ³ /min × 13.7m (A21、22) φ 100 × 1.0m ³ /min × 15m (B-1)	3.7 × 2 5.5 × 2	
		生污泥引抜弁	φ 200 × 3.5 ~ 7kg/m ² 空気作動式偏心弁 × 16台 φ 150 × 3.5 ~ 7kg/m ² 空気作動式偏心弁 × 8台		24
		初沈空気圧縮機	8.5kg/cm ² × 670L/min 8.5kg/cm ² × 870L/min	5.5 7.5	6
		池排水ポンプ	φ 100 × 1m ³ /min × 5m (NO.01、A41) φ 100 × 1m ³ /min × 7m(A21) φ 100 × 1m ³ /min × 7m(B-1)	2.2 × 2 2.2 × 1 3.7 × 1	4
水処理設備	生物	全量投入可動堰	w600 × H400 手動式可動堰 × 20 W1500 × H400 手動式可動堰 × 2	— —	22
		ステップ投入可動堰	w600 × H400 手動式可動堰	—	16
		返送污泥投入可動堰	W500 × H400 手動式可動堰 × 4台	—	4
	反応	エアレーションタンク 散気装置	80 ~ 100L/min枚 44組ステンレスホルダー付(1, 2系) 好気槽 散気装置(A4、5系) 好気槽 散気装置(B系)	— — —	4池分 8池分 2池分
		エアレーションタンク 消泡装置	8L/min 消泡可動式	—	22池分
	槽	循環ポンプ	水中ポンプ φ 100 × 1.7m ³ /min × 10.8m φ 200 × 4.6m ³ /min × 8.8m φ 200 × 5.1m ³ /min × 6.0m 陸上ポンプ φ 400 × 14m ³ /min × 6.0m	(1,2系) 3.7 × 8 (A2,3系) 7.5 × 8 (A4,5系) 7.5 × 8 (B-1系) 18 × 3	27
		風量空気調節弁	φ 300 × 1.4 ~ 7kg/cm ² DC4 ~ 20mA (1, 2系) φ 250 × 1.4 ~ 7kg/cm ² DC4 ~ 20mA (A2から5系) φ 300 × 1.4 ~ 7kg/cm ² DC4 ~ 20mA (B-1系)	— — —	4 16 2
		反応タンク攪拌機	水中機械式攪拌機 可変速 A2, 3系 8台 × 8池 A4, 5系 4台 × 8池 A4, 5系 4台 × 8池 槽外駆動式 B-1系 嫌気槽 B-1系 無酸素槽	2.2 × 64 3.7 × 32 3.7 × 32 2.2 × 4 3.7 × 8	108
	最終沈殿池設備	終沈流入ゲート	W500 × H500 手動式 W400 × H400 手動式		48
		終沈污泥掻寄機	チェーンライト式ダブルチェーンコンベア 0.32m/min (1連1駆動) 0.3m/min (2連1駆動) (メイン) 0.3m/min (4連1駆動) (クロス) 0.3m/min (1連1駆動) 0.3m/min (2連1駆動) 0.3m/min (4連1駆動)	0.4 × 4 1.5 × 2 (A2,3系) 0.4 × 4 (A2,3系) 0.4 × 4 (A4,5系) 0.4 × 8 (B-1系) 0.4 × 2	24

施設	設備	機器名	規格又は仕様	電気容量 (kW)	台数	
水 処 理 設 備	最 終	終沈スカムスキマー	空気作動回転式パイプスキマー φ 300×8台 電動シリンダー式パイプスキマー φ 300×32台 電動シリンダー式パイプスキマー φ 400×8台	(1,2系)0.2 ×8 (A2-5系) 0.2×32 (B-1系)0.2 ×8	48	
		二次処理 水槽ゲート	W500×H500 手動式制水扉	—	2	
	沈 殿	余剰汚泥ポンプ	φ 100×1m ³ /min×8m φ 100×1m ³ /min×12m φ 100×0.6m ³ /min×8m φ 150×2m ³ /min×7m	3.7×2(1 系) 5.5×2(A2,3 系) 5.5×3(A4,5 系) 5.5×2(B-1 系)	9	
			返送汚泥ポンプ	φ 150×2.7m ³ /min×11m φ 150×2.9m ³ /min×11m φ 190×8m ³ /min×8m φ 250×9m ³ /min×9m φ 300×11m ³ /min×13m	11×4 22×8 45×2	14
	池 設 備	池排水ポンプ	φ 100×1m ³ /min×6m (NO.01) φ 150×3m ³ /min×8m (A21,A22) φ 250×7m ³ /min×11m (B-1)	(1, 2系)2.2 ×1 (A2-5系) 2.2×2 (B-1系)22 ×1	4	
			スカム移送ポンプ	φ 100×1.8m ³ /min×15m(NO.01、O2) φ 150×3m ³ /min×8m (A21,A22) φ 100×1.25m ³ /min×9m (B-1)	(1,2系)11 ×1 (A2-5系)11 ×2 (B-1系)5.5 ×2	5
			終沈空気圧縮機	8.5kg/cm ² ×260L/min	2.2	2
	水 処 理 設 備	減 菌 設 備	次亜塩貯留タンク液位計	次亜塩素酸ソーダ DC24V 4~20mA	—	5
			次亜塩貯留槽 (次亜塩素酸ソーダ)	FRP製 1m ³	—	2
				FRP製 6m ³	—	2
PE製 5m ³		—		1		
次 亜 塩 注 入 ポン プ		次亜塩注入ポンプ	0.103L/min×5kg/cm ² 1.89L/min×4kg/cm ² 2.58L/min×4kg/cm ² 1.20L/min×4kg/cm ²	0.4 0.4 0.4 0.2	2 1 1 2	
			有機汚濁モニター	UV計	—	2
			放流流量計	DVFM面速式	—	2
			放流ポンプ井	W1,400×H1,700 制水扉	2.2	1
放 流 ゲ ート		流入ゲート	電動式バルブコントローラ			
		放流ゲート	W1,400×H1,700 制水扉 電動式バルブコントローラ	2.2	1	

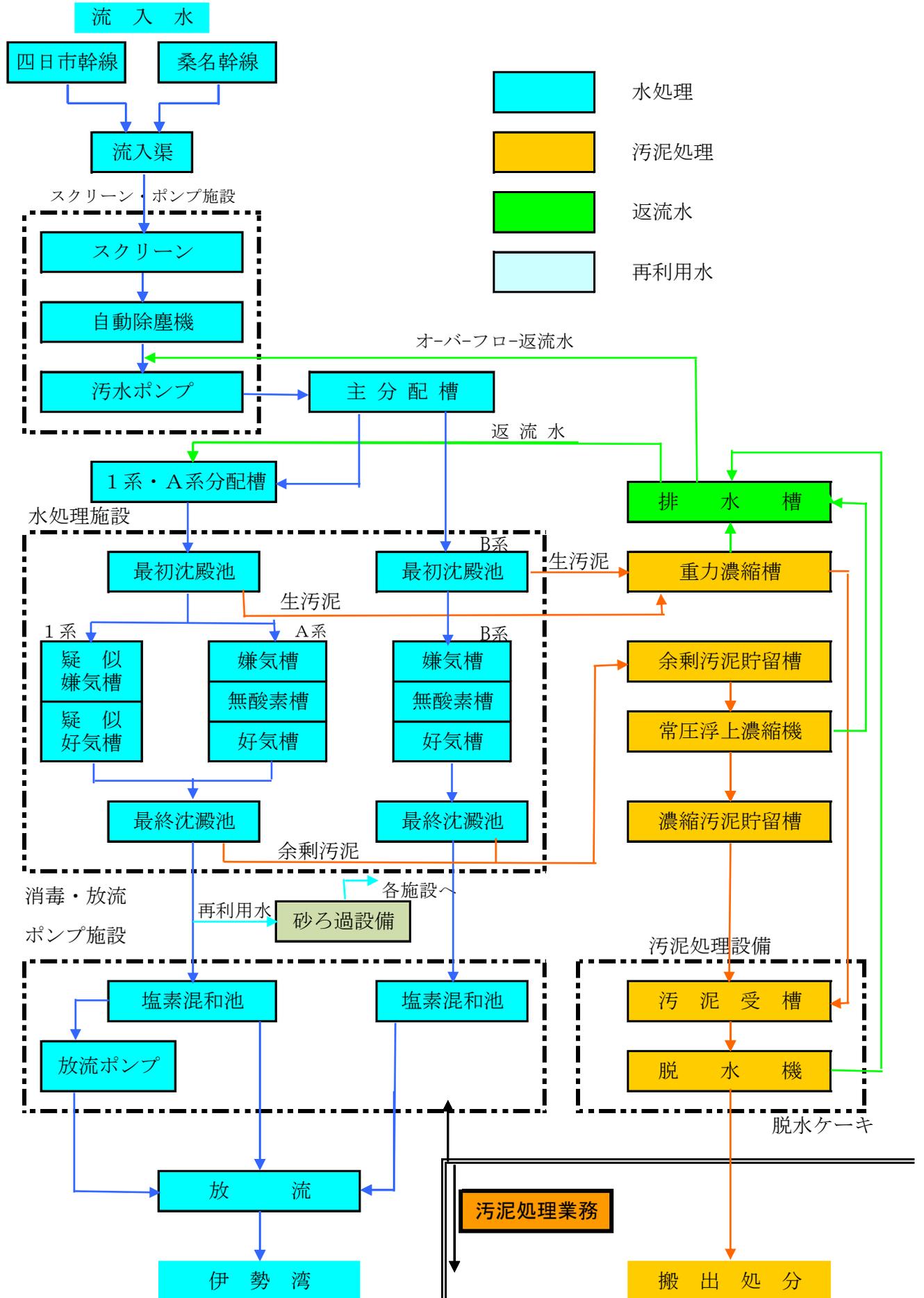
施設	設備	機器名	規格又は仕様	電気容量 (kW)	台数	
水 処 理 設 備	放 流 設 備	放流ポンプ	水中ポンプ φ 300 × 8.8m ³ /min × 5.7m	15.0	2	
			立軸斜流 φ 350 × 17.5m ³ /min × 5.0m	30.0	1	
			立軸斜流 φ 500 × 36.2m ³ /min × 5.0m	45.0	2	
	設 備	流量計	(返送汚泥流量計) AC100V電磁流量計 ポンプ用		—	4
			反応槽		—	8
	P A C	PAC貯留槽	FRP製 15m ³	—	1	
			FRP製 3m ³	—	1	
			ポリエチレン製 10m ³ (A4、5系)	—	1	
			PE製 15m ³ (B系)	—	1	
	設 備	PACポンプ	2.62L/min × 3kg/cm ² (移送用)	0.4	2	
270mL/min 電磁式 (PAC注入用)			0.024	8		
2.62L/min × 0.3MPa (PAC注入用) (A4、5系)			0.4	2		
0.03~1.49L/min × 0.2MPa (PAC注入用) (B系)			0.4	2		
砂 ろ 過 棟	砂 ろ 過 設 備	二次処理水槽連通用弁	φ 400 手動仕切弁	—	2	
		二次処理水槽		—	1	
		砂ろ過原水ポンプ	φ 100 × 1.6m ³ /min × 17m	7.5	2	
		原水ポンプ用ストレーナ	自動洗浄ストレーナφ 150 × 1.6m ³ /min	—	3	
		砂ろ過逆洗ポンプ	φ 150 × 6.0m ³ /min × 18m	30.0	2	
		砂ろ過水槽		—	2	
		脱水機棟移送ポンプ	φ 200 × 4.9m ³ /min × 10m	11.0	2	
		砂ろ過器	φ 3,100 二層ろ過 処理量 1,500m ³ /日	—	3	
		除湿器		—	1	
		空気源装置	最高入口圧縮圧力9.5kg/cm ² 処理空気量830L/min	0.46	2	
汚 泥 濃 縮 設 備	重 力 濃 縮 設 備	濃縮槽	コンクリート製 254m ³	—	2	
			コンクリート製 754m ³	—	1	
		汚泥スクリーン	回転ドラムスクリーン 1m ³ /min × 目巾4mm	0.4	1	
		汚泥引抜ポンプ	スクリュウ型 φ 200 × 1m ³ /min × 12m	5.5	2	
		汚泥引抜弁	φ 200 × 0.2MPa 空気作動式偏心弁	—	1	
		汚泥掻寄機	中央駆動懸重型 φ 9m × 4m, 2~3m/min	0.4	2	
			中央駆動支柱型 φ 15.5m × 4m, 2.94m/min	1.5	1	
スカム受カゴ搬出機用クレーン	自立型ジブクレーン 0.5t × 5m	—	2			

施設	設備	機器名	規格又は仕様	電気容量 (kW)	台数
汚泥スクリーナー棟	重 力 濃 縮 設 備	汚泥スクリーン	スクリーン・脱水ユニット 2m ³ /min×目巾2.5mm	1.9	1
		汚泥スクリーンし渣ホッパ	鋼板製角型カットゲート式 7m ³	1.5×2	1
		汚泥引抜ポンプ	一軸ネジ式 φ125×25~50m ³ /min×20m	11.0	2
		汚泥引抜切替弁	φ150×0.2MPa 電動式偏心構造弁	0.75	1
		汚泥分配可動堰	W400×H400 手動式可動堰	—	1
			W600×H400 手動式可動堰	—	1
		生汚泥受槽攪拌機	水中ミキサ式 槽寸法W2.3m×L2.925m×D4.4m	1.5	2
		生汚泥移送ポンプ	吸込スクリュ付ポンプ φ100×0.6m ³ /min×7.5m	2.2	2
	床排水ポンプ	水中ポンプ φ65×0.3m ³ /min×10m	1.5	2	
	脱臭設備	脱臭ファン	FRP製ターボファン 0.31~0.93L/min×0.4MPa	0.2	1
		脱臭装置	カートリッジ式 20m ³ /min	—	1
		カートリッジ吊上装置	1t×5.5m 手動式チェーンブロック	—	1
	機械濃縮棟	機 械 濃 縮 設 備	余剰汚泥貯留槽攪拌機	水中プロペラ式 容量100m ³	2.4
汚泥破砕機			立軸2軸回転式(管設置型) φ250	3.7	1
汚泥供給ポンプ			一軸ネジ式ポンプφ150×25~67m ³ /h×20m	22.0	3
空気圧縮機			除湿器搭載型 600L/min×8.5kg/cm ²	5.5	2
凝集剤溶解槽			鋼板製円筒槽3.6m ³ ミキサー:立形プロペラ式	2.2	2
凝集剤供給機			可度連続定量供給機 0.15~1.0L/min	0.2	2
凝集剤注入ポンプ			一軸ネジ式ポンプφ20×150~600L/h×20m	0.4	3
起泡助剤希釈槽			鋼板型円筒槽(投入ホッパ式)900L ミキサー	0.1	2
起泡助剤注入ポンプ			ダイヤフラム式定量ポンプ φ15×167cc/min×20m	0.2	3
浮上濃縮装置			常圧浮上濃縮装置 8m ²	9.2	3
脱気機			鋼板型円筒槽 2.4m ³	1.5	2
砂ろ過給水タンク			FRP製パネル式タンク 30m ³	—	1
砂ろ過給水ユニット			圧カタンク式 自動給水装置 0.65m ³ /min×20m	5.5	1
濃縮汚泥貯留槽攪拌機			立型パドル式 50m ³ ×2槽	3.7	4
濃縮汚泥移送ポンプ			一軸ネジ式ポンプ φ150×60m ³ /h×20m	22.0	2
汚泥脱水機棟	汚 泥 脱 水 機 設 備	汚泥切替弁	空気作動偏心構造弁 φ200	—	2
		薬品コンテナ	角形コンテナホッパ 0.5m ³	—	8
		薬品定量フィーダー	可変式容積形定量供給庫 0.25~1.0L/min	0.4	4
		薬品溶解タンク	鋼板製立形円筒槽 φ2.5m×2.5H×10m ³	5.5	4
		薬液供給ポンプ	一軸ネジ式ポンプ φ50×4m ³ /h×13mH	1.5	6
		汚泥受槽攪拌機	立軸パドル式 攪拌容量 約70m ³ 以上	15.0	4
		汚泥供給ポンプ	一軸ネジ式ポンプ φ100×20m ³ /h×23mH	5.5	6
		汚泥脱水機	ベルトプレス(高効率形)ろ布巾 3.0m 0.75kW+3.7kW+0.75kW+2.2kW	7.4	6
		ケーキ搬出機	20° トラフ3ローラベルトコンベア W600×L24500	0.8	2
		ケーキホッパ	鋼板製電動式 15m ³	3.7	2

施設	設備	機器名	規格又は仕様	電気容量 (kW)	台数	
汚泥脱水設備	汚泥脱水設備	ろ布洗浄水ポンプ	片吸込渦巻ポンプ 80A × 0.9m ³ /min × 70mH	18.5	5	
		排水槽攪拌機	立軸パドル式 90m ³	11.0	4	
		返流水ポンプ	スクリー遠心形汚泥ポンプ φ 100 × 1.5m ³ /min × 16mH	7.5	4	
		高架水槽	角形パネルタンク 20m ³	—	2	
	脱臭棟	脱臭設備	生物脱臭装置	充填式生物脱臭塔 110m ³ /min	—	1
			ミストセパレータ	慣性衝突形 110m ³ /min	—	1
			脱臭ファン	ターボファン 55m ³ /分 × 200mmAq	5.5	2
			No.2薬液貯留槽(苛性ソーダ)	FRP製円筒タンク 1m ³	0.2	2
			苛性ソーダ注入ポンプ	流量可変定量ダイヤフラムポンプ 15A × 12~120cc × 10kg/cm ²	0.2	1
			活性炭吸着塔	カートリッジ式 55m ³ /分	—	2
土壌脱臭設備	土壌脱臭設備	脱臭ファン	片吸込ターボファン 80m ³ × 150mmAq	(1系,A2系) 5.5 × 4	4	
			片吸込ターボファン 90m ³ × 1.47kpa	(A3系,A4系) 5.5 × 4	4	
		脱臭床給水ポンプ	片吸込渦巻ポンプ 40A × 0.2m ³ /min × 22m	(1系-A4系) 2.2 × 2	2	
		ストレーナ	自動洗浄ストレーナ 50A × 0.2m ³ /min	(1系-A4系) 0.4	1	
		排水ポンプ	水中汚水ポンプ 65A × 0.34m ³ /min × 10m	(1系,A2系) 2.2 × 2	2	
			水中汚水ポンプ 65A × 0.57m ³ /min × 7m	(A3系,A4系) 2.2 × 2	2	
		土壌脱臭床	80m ³ /min 190m ² × 4床 (1系、A2系)	—	2	
			90m ³ /min 190m ² × 6床 (A3、A4、A5系)	—	3	

施設	設備	機器名	規格又は仕様	電気容量 (kW)	台数	
汰 上 ポ ン プ 場	ス ク リ ー ン	流入ゲート	W500×H600 鋳鉄製制水扉 電動式バルブコントローラ	1.5	2	
		粗目スクリーン	W700 有効目幅100mm 取付角度60度 フラットバースクリーン	—	2	
	リ ー ン	破碎機	水路設置型 8.4m ³ /min	3.7	1	
			水路設置型 5.85m ³ /min	3.7	1	
		流出ゲート	W500×H600 鋳鉄製制水扉 手動式	—	2	
	設 備	搬出用ホイス	2t×18m 電動横行ホイス	3.7 0.4	1	
		破碎機用 チェンブロック	1t×9m ギヤードロリ	—	1	
	脱 臭 設 備	脱臭装置	活性炭吸着塔 処理量20m ³ /min □1,400×H2,650×1塔	—	1	
		脱臭ファン	ターボファン 20m ³ /min×180mmAq	1.5	1	
		脱臭装置用 チェンブロック	0.5t×4.5m ギヤードロリ	—	1	
	ポ ン プ 設 備	ポ ン プ	汚水ポンプ用仕切弁	手動外ねじ仕切弁 φ200	—	2
				手動外ねじ仕切弁 φ150	—	1
		汚水ポンプ	着脱式水中ポンプφ200×5.2m ³ /min×24m	37	2	
			着脱式水中ポンプφ150×3.3m ³ /min×22m	22	1	
ポンプ井攪拌機		水中形 9.0m ³ /min	2.4	1		
		水中形 4.9m ³ /min	1.5	1		
ポンプ井仕切ゲート		□550 鋳鉄製手動制水扉	—	1		
圧送管仕切弁		手動外ねじ仕切弁 φ500	—	1		
ポンプ用 チェンブロック	2t×5m ギヤードロリ	—	1			
自家発電設備	自家発電機	発電機200kVA×420V×60Hz ディーゼル機関220kW(300PS)	200(kVA)	1		
北勢幹線マン ホールポンプ 場	除塵カゴ	1000×500×210 ステンレス製	—	1		
	汚水ポンプ用仕切弁	手動弁 φ150	—	2		
	汚水ポンプ	着脱式水中ポンプφ150×2.8m ³ /min×22.8m	22	2		
	自家発電機	発電機60kVA×220V×60Hz ディーゼル機関59.6kW(81PS)	60(kVA)	1		
員弁川幹線マン ホールポンプ 場	汚水ポンプ用仕切弁	手動ボール弁 80A	—	2		
	汚水ポンプ	着脱式水中ポンプφ80×0.67m ³ /min×13.4m	5.5	2		
	自家発電機	発電機42.5kVA×220V×60Hz ディーゼル機関44.9kW(61PS)	42.5(kVA)	1		

(5) 水処理フローシート(北部浄化センター)



(6) 水質管理状況

ア 水質管理状況の概況

(ア) 流入水量

23年度における日平均流入水量は、90,511 m^3 /日で、22年度の86,167 m^3 /日と比較すると、4,344 m^3 /日の増加であった。過去5年間の流入水量の変動は、17年度から18年度は、9,107 m^3 /日の増加、18年度から19年度は、301 m^3 /日の増加、19年度から20年度は3,697 m^3 /日の増加、20年度から21年度は1,847 m^3 /日の増加、21年度から22年度は635 m^3 /日の増加となっている。

(イ) 流入水質(BOD、COD、SS、T-N、T-P、有害項目)

23年度における平均流入水質について、全りん濃度は3.2 mg/ℓ と過去5年間の年平均値を下回っている。(過去年平均値3.3 mg/ℓ) またBOD濃度は160 mg/ℓ、SS濃度は190 mg/ℓ と過去5年間の年平均値と同じ値であった。(BOD濃度過去年平均値160mg/ℓ、SS濃度過去年平均値190mg/ℓ) COD濃度は95 mg/ℓ (過去年平均値90 mg/ℓ) および全窒素濃度は27 mg/ℓ (過去年平均値26 mg/ℓ) と過去5年間の年平均値を上回った。

有害項目については、年間を通じてアンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物濃度、並びにダイオキシン類を除いた項目で報告下限値未満であった。ダイオキシン類については、年1回の測定で0.15pg-TEQ/ℓ であった。

(ウ) 放流水質(A系)(BOD、COD、SS、T-N、T-P、有害項目)

23年度における平均処理水質について、BOD濃度及びCOD濃度は過去5年間の年平均値を下回って(BOD濃度は1.7 mg/ℓ (過去年平均値2.0 mg/ℓ)、COD濃度は7.0 mg/ℓ (過去年平均値7.1 mg/ℓ)) おり、SS濃度については過去5年間の年平均値と同じ値であった。(SS濃度は2 mg/ℓ (過去年平均値2 mg/ℓ))

また全窒素濃度は6.9 mg/ℓ (過去年平均値6.8 mg/ℓ)、全りん濃度は0.6 mg/ℓ (過去年平均値0.5 mg/ℓ) と過去5年間の年平均値を上回る濃度であった。

有害項目については、年間を通じてアンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物濃度、並びにダイオキシン類を除いた項目で報告下限値未満であった。ダイオキシン類については、年1回の測定で0.00047pg-TEQ/ℓ であった。

(エ) 放流水質(B系)(BOD、COD、SS、T-N、T-P、有害項目)

B系処理施設は10月中旬より運転を始めた。23年度における平均処理水質について、BOD濃度及びSS濃度は過去5年間の年平均値を下回っており(BOD濃度は1.5 mg/ℓ、SS濃度は1 mg/ℓ)、COD濃度および全窒素濃度ならびに全りん濃度は過去5年間の年平均値と同じ値であった。(COD濃度は7.1 mg/ℓ、全窒素濃度は6.8 mg/ℓ、全りん濃度は0.5 mg/ℓ)

有害項目については、年間を通じてアンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物濃度を除いた項目で報告下限値未満であった。

(オ) 放流先の環境保全に係る運転管理

窒素、りん対策のため、9年度からは、標準活性汚泥法による既存施設を疑似

嫌気好気法に施設改良して運転を行い、10年度からは、A20法（嫌気-無酸素-好気法）による施設を設置、増設し、運転を行っている。さらに23年度10月より新たにB系処理施設を立ち上げ運転を行っている。

放流先の環境保全に寄与するため、下記5項目については、排水基準値よりも厳しい自主管理値を設定している。A系放流水の水質については、SS濃度が大雨による流入水の増加のため終沈の汚泥の舞い上がりが発生したことにより最大値を超えた。また全りん濃度の75%値および平均値が超えた。（BOD濃度最大 7.1 mg/ℓ、75%値1.8mg/ℓ、COD濃度最大11 mg/ℓ、75%値7.5mg/ℓ、SS濃度最大16mg/ℓ、75%値2mg/ℓ、全窒素濃度最大 8.8mg/ℓ、75%値7.5mg/ℓ、全りん濃度最大 1.0mg/ℓ、75%値0.8mg/ℓ。なお、各項目の平均値については前述のとおり）

B系放流水の水質については、いずれの項目もそれぞれの値以下であった。（BOD濃度最大 2.5 mg/ℓ、75%値1.6mg/ℓ、COD濃度最大8.8 mg/ℓ、75%値7.4mg/ℓ、SS濃度最大2mg/ℓ、75%値1mg/ℓ、全窒素濃度最大 8.5mg/ℓ、75%値7.3mg/ℓ、全りん濃度最大 0.9mg/ℓ、75%値0.6mg /ℓ、なお、各項目の平均値については前述のとおり）

法令の排水基準値等

項目	法令の排水基準値	自主管理値		
		最大値	75%値	平均値
BOD (mg/ℓ)	15	8.0	4.5	4.0
COD (mg/ℓ)	25(20)	12	8.3	8.0
SS (mg/ℓ)	40	10	4	3
全窒素 (mg/ℓ)	13	10	7.6	7.2
全りん (mg/ℓ)	1.4	1.2	0.7	0.5

*上表の（ ）内の数値は日間平均値。

イ 月別水質管理状況

4月

降雨量は91.0mm、月平均流入水量は81,694m³/日であり、3月と比べて845m³/日増加した。

最大流入水量は27日に95,533m³/日であった。

大腸菌群数は最高110個/ml、平均75個/mlであった。消毒用の次亜塩素酸ソーダの注入率は1日に0.1mg/ℓから0.5mg/ℓに変更し運用した。水処理はおおむね良好であった。

5月

降雨量は320.0mm、月平均流入水量は95,710m³/日であり、4月と比べて14,016m³/日増加した。

11日には106.0mmの降雨により、流入水量が増加したため、最初沈殿池の空き池に貯留し、かつ流入ゲートの操作による管内貯留を実施した。29日には台風接近に伴い、流入水量が増加し、29日151,522m³/日（最大流入水量）、30日142,383 m³/日となり最初沈殿池の空

き池に貯留し、かつ流入ゲートの操作による管内貯留を実施した。

大腸菌群数は最高240個/ml、平均104個/mlであった。消毒用の次亜塩素酸ソーダの注入率は0.5mg/lから0.7mg/lに変更した。水処理は大雨時にSS濃度が自主管理目標値の最大値を超過した。BOD濃度およびCOD濃度も大雨時に高くなったがそれ以外では良好であった。全窒素は良好であった。全リンは下旬にやや高い値となった。

6月

降雨量240.0mm、月平均流入水量は98,532m³/日であり、5月と比べて2,822m³/日増加した。2日流入水量の増加により、最初沈殿池の空き池に貯留し、かつ流入ゲートの操作による管内貯留を実施した。最大流入水量は2日に171,831m³/日であった。

大腸菌群数は最高130個/ml、平均41個/mlであった。消毒用の次亜塩素酸ソーダの注入率は0.7mg/lで運用した。水処理はおおむね良好であった。

7月

降雨量は171.5mm、月平均流入水量は96,942m³/日であり、6月と比べて1,590 m³/日減少した。25日流入水量の増加により最初沈殿池の空き池に貯留し、かつ流入ゲートの操作による管内貯留を実施した。しかしさらに流入水量が増加したため、併用処理を実施した。最大流入水量は25日に170,490m³/日であった。

大腸菌群数は最高190個/ml、平均69個/mlであった。消毒用の次亜塩素酸ソーダの注入率は13日に0.9mg/lから1.0mg/lに変更した。水処理はおおむね良好であった。

8月

降雨量は146.0mm、月平均流入水量は89,784m³/日であり、7月と比べて7,158m³/日減少した。22日流入水量の増加により、最初沈殿池の空き池に貯留し、かつ流入ゲートの操作による管内貯留を実施した。最大流入水量は22日に149,273 m³/日であった。

大腸菌群数は最高180個/ml、平均72個/mlであった。消毒用の次亜塩素酸ソーダの注入率は2日に1.0mg/lから1.1mg/lに変更した。反応槽の水温上昇に伴い、生物活性が高まったためMLSSの目標濃度を1900mg/lから1700 mg/lに変更した。水処理は全りんが中旬以降やや高い状態であった。それ以外はおおむね良好であった。

9月

降雨量は351.0mm、月平均流入水量は105,897m³/日であり、8月と比べて16,113m³/日増加した。4日台風12号の接近に伴い流入水量が増加したため最初沈殿池の空き池に貯留し、かつ流入ゲートの操作を行い、管内貯留を実施した。しかしさらに流入水量が増加したため、併用処理を実施した。また21日台風15号の接近に伴い大雨の影響で併用処理を実施した。最大流入水量は21日に223,303 m³/日であった。

大腸菌群数は最高45個/ml、平均11個/mlであった。消毒用の次亜塩素酸ソーダの注入率は27日から30日かけて段階的に1.0mg/lに増加させて運用した。水処理はおおむね良好であった。

10月

降雨量は94.5mm、月平均流入水量は87,191m³/日であり、9月と比べて18,639m³/日減少した。最大流入水量は15日に116,509m³/日であった。大腸菌群数は最高280個/ml、平均174個/mlであった。1日から放流水の残留塩素濃度を低減させるため消毒用の次亜塩素酸ソーダの注入率を0.1mg/lに変更した。

11日からB系反応槽を立ち上げるため、種汚泥としてA系余剰汚泥をB系反応槽に移送した。B系は徐々に汚水を流入させ安定な立ち上げができ、おおむね水質状況は良好であった。A系は全りんが高い状態が続いた。それ以外は良好であった。

11月

降雨量は53.5mm、月平均流入水量は84,782m³/日であり、10月と比べて2,476m³/日減少した。最大流入水量は19日に113,283m³/日であった。

大腸菌群数はA系が最高470個/ml、平均265個/mlであった。B系が最高200個/ml、平均141個/mlであった。消毒用の次亜塩素酸ソーダの注入率はA、B系それぞれ0.1mg/lで運用した。B系は流入負荷を上げるため、流入水の50%を初沈バイパスして運転した。A系は全窒素、全りんがやや高い状態が続いた。B系はCODがやや高い状態が続いた。A、B系ともそれ以外は良好であった。

12月

降雨量は25.0mm、月平均流入水量は84,397m³/日であり、11月と比べて385m³/日減少した。最大流入水量は29日に95,705m³/日であった。

年末年始の窒素流入負荷の増加により、放流水の水質が悪化する傾向にあるが、この予防措置として負荷を減少させることを目的として次の対策を実施した。最初沈殿池の未使用池に雑用水を溜め、その水をオーバーフローさせることにより流入負荷を減少させた。また汚泥の脱水作業終了後の負荷の少ないろ布洗浄水を継続して返流水としてスクリーンポンプ棟へ送った。また汚泥返送率を5%上げて脱窒に努めた。さらに省エネ対策の一環として実施していた反応槽攪拌機の間欠運転を中止し、連続運転に変更した。これにより31日までT-N、T-Pの濃度上昇は見られなかった。

大腸菌群数はA系で最高320個/ml、平均176個/mlであった。B系は最高230個/ml、平均136個/mlであった。消毒用の次亜塩素酸ソーダの注入率はA、B系それぞれ0.1mg/lで運用した。B系は流入水の50%を初沈バイパスして運転し、反応槽の流入水質を調整した。A、B系ともに全りんがやや高い状態が続いた。それ以外は良好であった。

1月

降雨量は27.0mm、月平均流入水量は83,562m³/日であり、12月と比べて835m³/日減少した。

最大流入水量は20日に96,794m³/日であった。年始は例年と同様窒素濃度の高い汚水が流入したために起こる放流水の窒素濃度の増加があった。放流水悪化の予防措置のうち、5日、流入水負荷軽減のために行っていた汚泥脱水終了後のろ布洗浄水運転の継続、及び最初沈殿池未使用池からの返流水のオーバーフローを停止、また、返送汚泥返送率を5%減少させた。16日に反応槽の攪拌機の連続運転を中止し、間欠運転を再開した。この期間T-N、

T-Pの濃度上昇は見られなかった。

大腸菌群数はA系で最高86個/ml、平均53個/mlであった。B系で最高86個/ml、平均54個/mlであった。消毒用の次亜塩素酸ソーダの注入率はA、B系それぞれ0.1mg/lで運用した。

2月

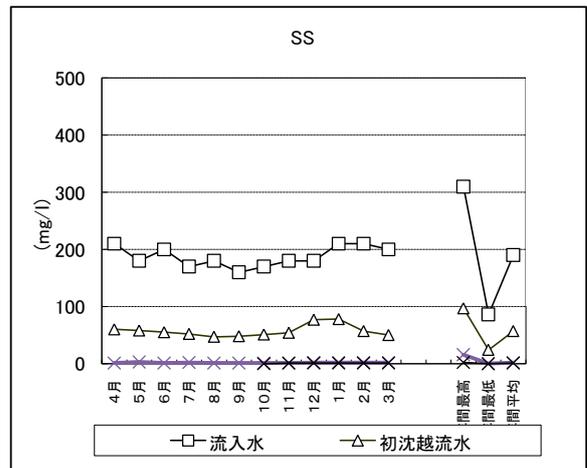
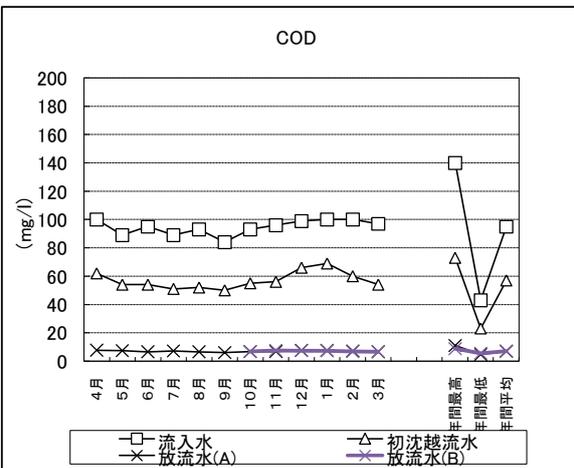
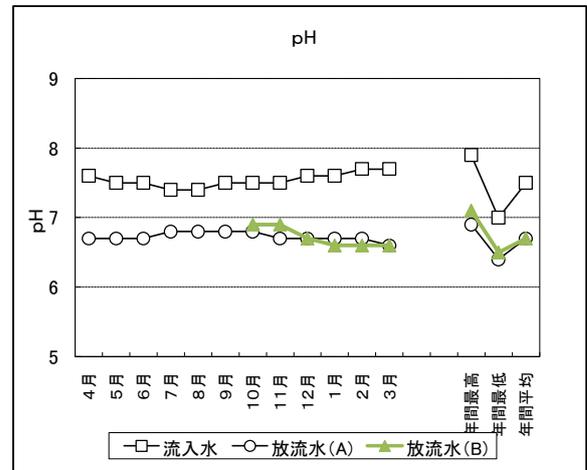
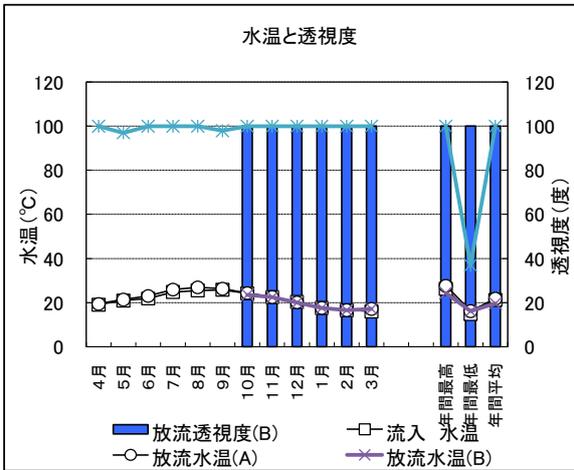
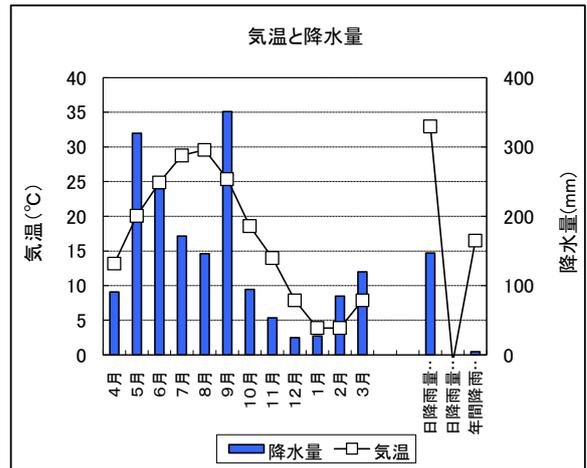
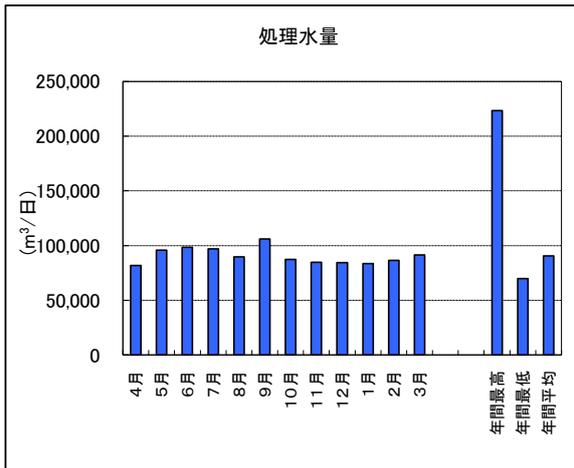
降雨量は85.0mm、月平均流入水量は86,362m³/日で、1月と比べて1,965m³/日増加した。最大流入水量は23日に112,092m³/日であった。

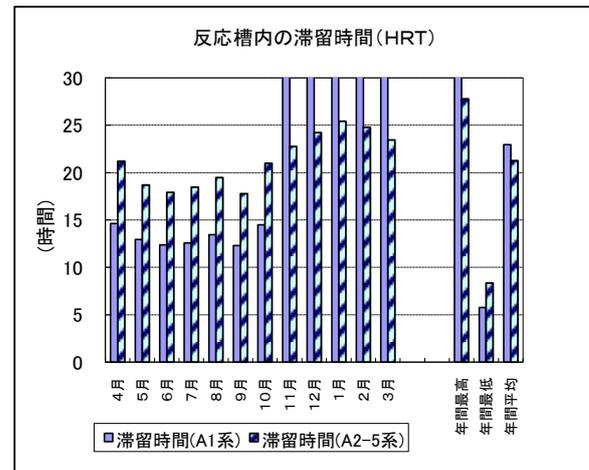
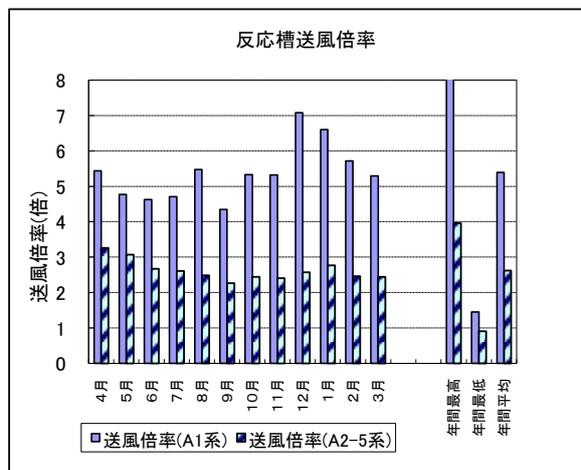
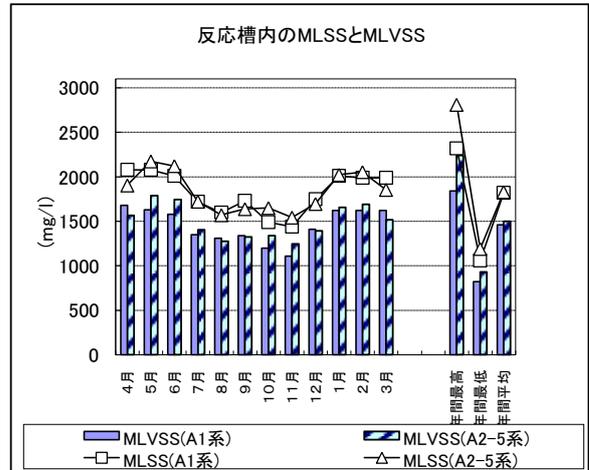
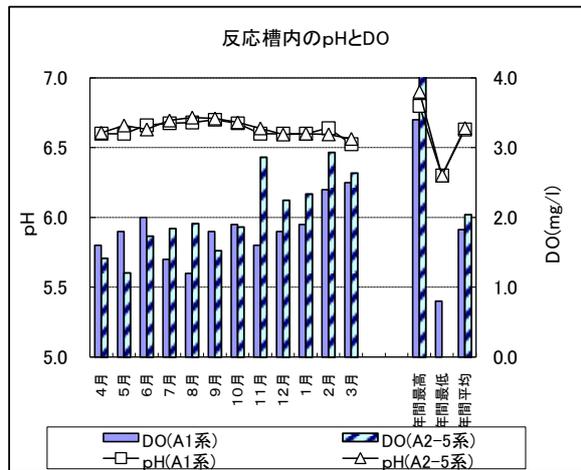
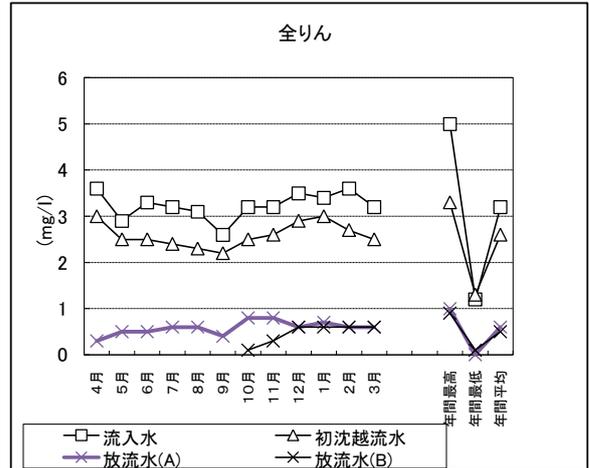
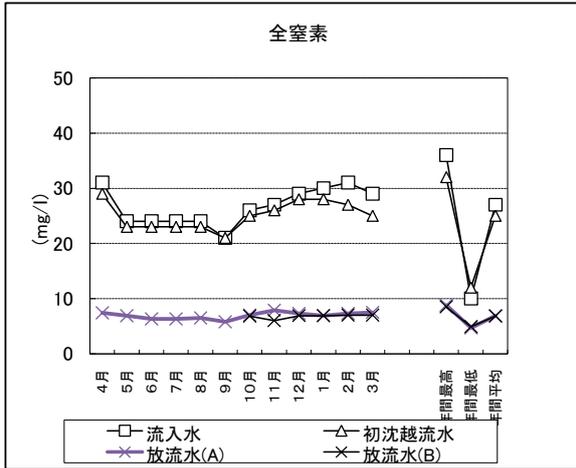
大腸菌群数はA系で最高150個/ml、平均94個/mlであった。B系で最高110個/ml、平均57個/mlであった。消毒用の次亜塩素酸ソーダの注入率はA、B系それぞれ0.1mg/lで運用した。水処理はA、B系ともに全りんがやや高いがそれ以外は良好であった。

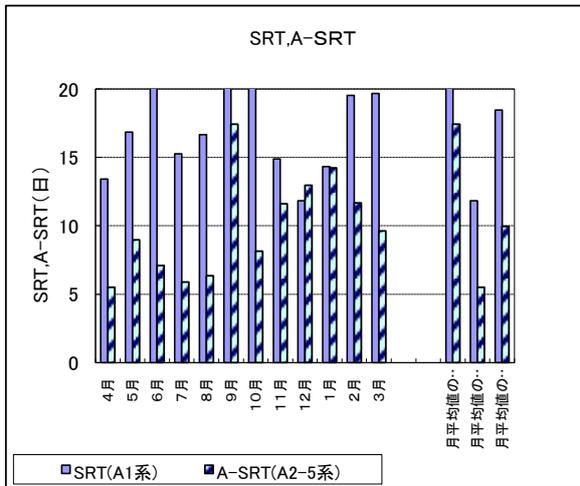
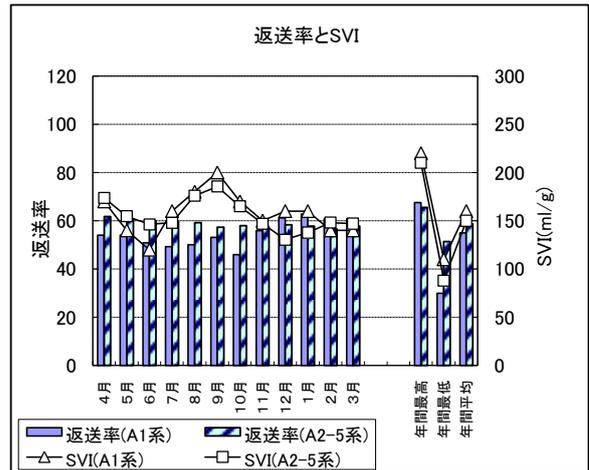
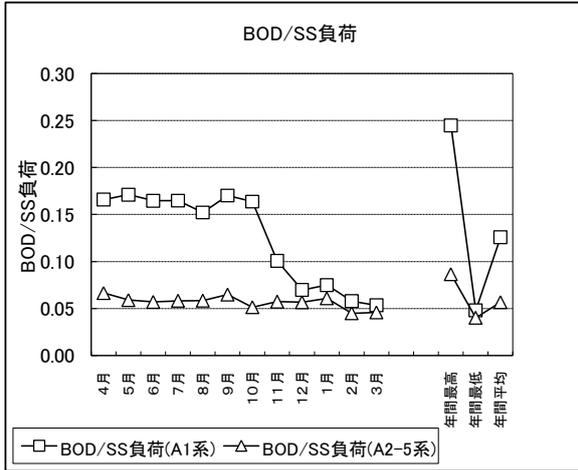
3月

降雨量は120.0mm、月平均流入水量は91,300m³/日であり、2月と比べて4,938m³/日増加した。最大流入水量は5日に129,654 m³/日であった。

大腸菌群数はA系は最高190個/ml、平均102個/mlであった。B系は最高100個/ml、平均65個/mlであった。消毒用の次亜塩素酸ソーダの注入率はA、B系それぞれ0.1mg/lで運用した。A、B系ともに全りんがやや高いがそれ以外は良好であった。







備考

1. 各月のデータは、その月平均値。
2. 年間最高値は、年間の総データの最高値。
3. 年間最低値は、年間の総データの最低値。
4. 年間平均値は、月間平均値の平均値。
5. ただし、降水量の各月のデータは、日降水量の累積値で、年間値は日降水量の値。

(9) 汚泥脱水処理

(注) 不用欄の削除不可

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	日平均
項	目														
汚泥脱水処理	脱水処理量 [m ³]	10,431.9	10,728.3	11,899.5	13,091.2	13,126.3	13,128.4	13,268.2	13,045.2	11,486.2	11,128.1	11,808.8	12,724.8	145,866.9	398.5
	濃縮汚泥濃度日平均 [%]	4.28	4.24	3.94	3.75	3.63	3.08	3.31	3.31	3.81	3.85	4.15	3.98	—	年平均 3.78
	脱水機運転時間 [h:m]	1188:24	1219:15	1319:16	1410:08	1354:27	1147:44	1313:53	1294:06	1236:21	1245:51	1353:58	1478:24	15561:47	42:31
	ケーキ発生量 [t]	1,547.90	1,556.60	1,640.50	1,675.60	1,536.50	1,315.60	1,480.50	1,507.70	1,515.50	1,492.20	1,689.90	1,820.10	18,778.60	51.3
	ケーキ含水率日平均 [%]	73.7	73.1	73.3	73.0	72.3	72.8	73.6	73.8	73.8	73.8	73.4	74.0	—	年平均 73.4
し	しさ発生量 [t]	12.28	13.34	13.55	12.86	13.23	13.13	8.03	8.32	7.45	8.00	9.60	4.30	124.09	0.34
汚泥処分	汚泥処分合計量 [t]	1,621.80	1,626.12	1,715.37	1,747.57	1,607.41	1,384.20	1,564.68	1,584.15	1,594.55	1,567.04	1,793.90	1,922.58	19,729.37	53.91
	セメント原料化 [t]	1,621.80	1,626.12	1,715.37	1,747.57	1,607.41	1,384.20	1,564.68	1,584.15	1,594.55	1,567.04	1,793.90	1,922.58	19,729.37	53.91
	〇〇 (処理方法記載) [t]	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
し	しさ処分合計量 [t]	5.72	6.44	3.06	9.64	6.38	6.68	3.40	6.14	4.86	3.38	3.92	9.84	69.46	0.19
	焼却処分 [t]	5.72	6.44	3.06	9.64	6.38	6.68	3.40	6.14	4.86	3.38	3.92	9.84	69.46	0.19

(10) 平成23年度施設点検業務の概要

施設点検整備概要		
番 号	工事名称	整 備 内 容
1	SP棟薬液注入ポンプ等分解点検工事	オーバーホール計画に基づく主要部品交換整備
2	A31・32反応槽攪拌機分解点検工事	オーバーホール計画に基づく主要部品交換整備
3	A2系終沈減速機等分解点検工事	オーバーホール計画に基づく主要部品交換整備
4	水処理ポンプ設備分解点検工事	オーバーホール計画に基づく主要部品交換整備
5	A4・5系終沈池排水ポンプ分解点検工事	オーバーホール計画に基づく主要部品交換整備
6	A4・5系終沈スカム移送ポンプ分解点検工事	オーバーホール計画に基づく主要部品交換整備
7	No.41送風機分解点検工事	オーバーホール計画に基づく主要部品交換整備
8	No.15汚泥脱水機分解点検工事	オーバーホール計画に基づく主要部品交換整備
9	No.15脱水機減速機分解点検工事	オーバーホール計画に基づく主要部品交換整備
10	No.3自家発用ディーゼル機関分解点検工事	オーバーホール計画に基づく主要部品交換整備
11	汰上ポンプ場1系汚水ポンプ場分解点検工事	オーバーホール計画に基づく主要部品交換整備
12		

設備故障状況及び処置概要		
年 月	名 称 及 び そ の 状 況	処 置 方 法
23 4	NO.11砂ろ過空気圧縮機交換工事	空気圧縮機取替
23 5	NO.14脱水機ろ布洗浄用耐圧ホース	耐圧ホース交換
23 6	流入ゲート用ポテンシオメータ	ポテンシオメータ交換
	ORP計用電磁弁	部品交換および交換用部品
	NO.A12循環ポンプ用メカニカルシール	部品交換
	NO.A17循環ポンプ用警報ケーブル	ケーブル交換
	NO.15薬液供給ポンプ用ローター	部品交換および交換用部品
	機械濃縮棟No.11空気圧縮機修繕工事	部品交換
	自動火災報知設備他修繕工事	感知器、音響装置他交換
	A系水処理施設トイレ内他タイル張替工事	タイル張替工事
23 7	余剰汚泥ポンプ用圧カススイッチ	部品交換および交換用部品
	No.A22生汚泥ポンプ軸封水用電磁弁	部品交換および交換用部品
	No.21主ポンプ軸封水用フロースイッチ	部品交換および交換用部品
	No.21返送汚泥ポンプ	ポンプ取替
	機械濃縮凝集剤供給機用ミストセパレーター	部品交換および交換用部品
	機械濃縮空気圧縮機エアドライヤ用ドレントラップ	部品交換および交換用部品
	T-N,T-P計サンプリングポンプ	ポンプ取替
	屋内消火栓用ホース	ホース交換および交換用ホース
23 8	No.4次亜塩注入配管用部品	部品交換
	No.11初沈汚泥引抜電磁弁	部品交換
	次亜塩注入配管漏洩補修工事	配管補修工事
	No.32送風機冷却水配管温度計	部品交換および交換用部品
	PAC移送ポンプ用電磁弁	部品交換および交換用部品
	ブロー補機室排気ファン用部品	部品交換
	雨量計修繕工事	部品交換工事

年月	名称及びその状況	処置方法
23 9	流入自動採水器計量柵	部品交換
	No.A32風量調節弁用部品	部品交換
	省エネ対策用単管	足場用単管購入
	管理本館扉調整修繕	扉修繕
	B系A階段扉調整修繕	扉修繕
	機械濃縮凝集剤溶解槽液位計	部品交換
	No.31,32送風機オイルクーラー垂鉛プラグ	部品交換
	No.11重力濃縮槽FRP蓋アングル補強工事	アングル補強工事
	ケーキホッパー室鉄板溶接工事	鉄板補修工事
	池排水ポンプ用軸受け	部品交換
	No.1除塵機シャープピン	部品交換および交換用部品
	No.21返送汚泥ポンプ修繕工事	部品交換および整備
	No.21主ポンプ軸封水配管修繕工事	配管修繕工事
23 10	管理本館自動ドア修理工事	ドア用ベルト交換
	A系初沈通路開口蓋製作工事	鋼板製蓋製作
	PAC配管取替え工事	配管バルブ等取替工事
	No13浮上濃縮装置車輪	濃縮装置ローラー交換
	脱水機ろ布洗浄用耐圧ホース	部品交換
	B系次垂塩注入ポンプ	注入ユニット購入
	流入採水器中間槽修理工事	部品交換修理
	No.12薬品溶解タンク修理工事	補修材等による修理
	A225攪拌機緊急修理工事	モータ軸受他部品交換および整備
	起泡助剤注入ポンプ用流量計	部品交換
	1系終沈汚泥引抜調整弁	部品交換および交換用部品
	A542反応槽攪拌機モーター修繕工事	モーター他部品交換および整備
	SP棟薬品脱臭設備配管修繕工事	配管修繕工事
	脱水機棟管廊及び脱水機補機室排気ファン修繕工事	ブリー他交換修繕工事
	1系PAC注入配管修繕工事	配管修繕工事
	No.1消泡水ポンプ修繕工事	ポンプ部交換及び電動機整備工事
23 11	No.2自家発空気始動用電磁弁	部品交換
	滅菌棟放流水採水蓋製作	SUS製採水蓋製作据付
	ポリテツ注入ポンプエアチャンバー用プラグ	部品交換および交換用部品
	No.15脱水機ろ布洗ホース用ニッブル	部品交換
	機械濃縮凝集剤タンク用ドレンバルブ	部品交換
	放流滅菌棟次亜注入流量計変換機修繕工事	変換機交換
	No.13脱水機インバータ修繕工事	インバータ他交換
	テニスコート休憩用テント修繕工事	テント修繕およびパイプ塗装工事

年 月	名 称 及 び そ の 状 況	処 置 方 法
24 12	機械濃縮生物脱臭循環配管用ストレーナー	部品交換および交換用部品
	No.13汚泥供給ポンプ電動機整備修繕	電動機他分解整備
	トイレ排水管及び管理本館柵修理工事	埋設配管修理工事
	ろ布洗浄水用ストレーナー	部品交換
	A系PAC配管用背圧弁	部品交換および交換用部品
	主管廊雨樋修理工事	雨樋修理工事
	No.15脱水機ろ布駆動用減速機ロータ軸	部品交換
	A51返送汚泥ポンプ修繕工事	部品交換および整備
	次垂注入配管修繕工事	配管修繕工事(塩ビ管→ライニング鋼管)
	管理本館高圧電気機器部品取替工事	遮断機部品交換工事
24 1		部品交換および整備
	砂ろ過器逆洗用タイマー	部品交換
	汰上ポンプ場汚水ポンプ起動用タイマー	部品交換
	場内誘導灯交換電池	部品交換
	No.4次垂塩注入ポンプ背圧弁	部品交換
	汰上ポンプ場汚水ポンプ停止用タイマー	部品交換
	本館1階東側トイレ洗面器修繕工事	修理工事
	公園駐車場トイレ小便器修繕工事	修理工事
	B系地下管廊散水栓	部品交換
	消火栓ポンプ用吐出バルブ	部品交換
	PAC移送ポンプ用ポンプヘッド	部品交換
	機械濃縮棟気泡用給水設備修繕工事	部品交換および配管修繕
	No.12終沈汚泥流量計修繕工事	流量計変換器交換工事
	A338反応槽攪拌機修繕工事	モーター他部品交換および整備
	脱水機棟2F西側中央シャッター修繕工事	シャッター部分取替

年 月	名 称 及 び そ の 状 況	処 置 方 法
24 2	汰上ポンプ場シーケンスコントロールラダーユニット	部品交換
	本館加圧給水ポンプ用部品	部品交換および交換用部品
	No.13砂ろ過器空洗配管用伸縮管継手	部品交換
	脱水機ろ布駆動用インバーター	部品交換
	塩素滅菌室排気ファン	ファン交換
	No.11,12重力濃縮スカム搬出クレーン用荷くさり	部品交換
	汰上ポンプ場空気弁	部品交換および交換用部品
	煙感知器等取替工事	煙感知器他取替
	SP棟スカムバイパス弁購入	弁交換
24 3	メンテ事務所屋根修繕工事	遮熱塗装工事
	反応槽排水処理工事	反応槽ピット排水用フラップ弁設置他工事
	ポータブル式流速計修繕及び点検整備	ケーブルコネクタ修理他工事
	SP棟スカムバイパス弁取替	部品交換
	砂ろ過給水ユニットポンプ取替え工事	ポンプ取替
	A22エアタンORP計修繕工事	変換器他取替
	A42初沈スカムスキマー他サーマルリレー修繕工事	C/Cサーマルリレー取替
	脱水機棟中央監視設備改修工事	シーケンスコントローラ基盤交換

月	NH ₄ ⁺ -N			NO ₂ ⁻ -N			NO ₃ ⁻ -N			全りん			PO ₄ ³⁻ -P			n-ヘキサン抽出物質			フェノール類			陰イオン界面活性剤		
	mgN/l			mgN/l			mgN/l			mg/l			mgP/l			mg/l			mg/l					
項目	流入	放流A	放流B	流入	放流A	放流B	流入	放流A	放流B	流入	放流A	放流B	流入	放流A	放流B	流入	放流A	放流B	流入	放流A	放流B	流入	放流A	放流B
4月	19	0	-	0	0	-	0	6.6	-	3.6	0.3	-	1.0	0.2	-	35	0	-	0	0	-	2.3	0	-
5月	12	0.4	-	0.4	0	-	0.1	5.7	-	2.9	0.5	-	0.8	0.4	-	24	0	-	0	0	-	3.2	0	-
6月	12	0	-	0.5	0	-	0.1	5.6	-	3.3	0.5	-	0.8	0.1	-	25	0	-	0	0	-	1.9	0	-
7月	12	0	-	0	0	-	0	5.4	-	3.2	0.6	-	0.8	0.1	-	20	0	-	0	0	-	3.8	0	-
8月	12	0	-	0.2	0	-	0.1	5.7	-	3.1	0.6	-	0.8	0.5	-	13	0	-	0	0	-	1.2	0	-
9月	11	0.1	-	0.2	0	-	0.4	5.0	-	2.6	0.4	-	0.7	0.3	-	21	0	-	0	0	-	2.8	0	-
10月	13	0	0.1	0.5	0	0	1.6	6.2	5.9	3.2	0.8	0.1	0.9	0.6	0	22	0	-	0	0	-	2.5	0	-
11月	15	0	0.2	0.5	0	0	2.5	7.1	5.0	3.2	0.8	0.3	1.0	0.7	0.2	22	0	0	0	0	0	3.0	0	0
12月	16	0	0.2	0.7	0	0	3.4	6.6	5.8	3.5	0.6	0.6	1.2	0.5	0.5	30	0	0	0	0	0	2.9	0	0
1月	18	0	0	1.5	0	0	2.0	6.3	6.2	3.4	0.7	0.6	1.3	0.3	0.5	24	0	0	0	0	0	2.1	0	0
2月	19	0	0	0.6	0	0	1.0	6.6	6.3	3.6	0.6	0.6	1.3	0.5	0.5	24	0	0	0	0	0	3.4	0	0
3月	18	0	0	0	0	0	0	6.8	6.3	3.2	0.6	0.4	1.0	0.4	0.5	19	0	0	0	0	0	3.8	0	0
最高	26	1.0	1.2	2.3	<0.1	0.1	4.6	8.0	7.6	5.0	1.0	0.9	1.7	0.9	0.7	38	<0.5	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	4.8	<0.1	<0.1
最低	5.3	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	3.4	4.0	1.2	<0.1	0.1	0.2	<0.1	<0.1	6.1	<0.5	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	0.5	<0.1	<0.1
平均	15	0	0.1	0.4	0	0	0.9	6.1	5.9	3.2	0.6	0.5	1.0	0.5	0.4	23	0	0	0	0	0	2.7	0	0
測定回数	98	98	43	98	99	43	98	99	43	98	100	44	98	99	43	24	24	10	24	24	10	24	24	10
放流基準値		-			-			-		1.4			-				鉱物油 1動植物油 10		1			-		

月	銅			亜鉛			溶解性鉄			溶解性マンガン			全クロム			カドミウム			全シアン			有機りん		
	mg/l			mg/l			mg/l			mg/l			mg/l			mg/l			mg/l					
項目	流入	放流A	放流B	流入	放流A	放流B	流入	放流A	放流B	流入	放流A	放流B	流入	放流A	放流B	流入	放流A	放流B	流入	放流A	放流B	流入	放流A	放流B
4月	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-
5月	0	0	-	0.2	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-
6月	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-
7月	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-
8月	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-
9月	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-
10月	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-
11月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
最高	<0.1	<0.1	<0.1	0.3	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01	<0.01	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
最低	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01	<0.01	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
平均	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
測定回数	24	24	10	24	24	10	24	24	10	24	24	10	24	24	10	24	24	10	24	24	10	24	24	10
放流基準値		1			2			10		10			2		0.1		1			1			1	

月	鉛			六価クロム			砒素			総水銀			アルキル水銀			ホリ塩化ビフェニル			トリクロロエチレン			テトラクロロエチレン		
	mg/l			mg/l			mg/l			mg/l			mg/l			mg/l			mg/l			mg/l		
項目	流入	放流A	放流B	流入	放流A	放流B	流入	放流A	放流B	流入	放流A	放流B	流入	放流A	放流B	流入	放流A	放流B	流入	放流A	放流B	流入	放流A	放流B
4月	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-
5月	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-
6月	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-
7月	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-
8月	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-
9月	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-
10月	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-
11月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
最高	<0.01	<0.01	<0.01	<0.05	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01	<0.01	<0.0005	<0.0005	<0.0005	検出せず	検出せず	検出せず	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.03	<0.03	<0.03	<0.01	<0.01	<0.01
最低	<0.01	<0.01	<0.01	<0.05	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01	<0.01	<0.0005	<0.0005	<0.0005	検出せず	検出せず	検出せず	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.03	<0.03	<0.03	<0.01	<0.01	<0.01
平均	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
測定回数	24	24	10	24	24	10	24	24	10	24	24	10	24	24	10	24	24	10	24	24	10	24	24	10
放流基準値	0.1			0.5			0.1			0.005			検出されないこと			0.003			0.3			0.1		

月	ジクロロメタン			四塩化炭素			1,2-ジクロロエタン			1,1-ジクロロエチレン			シス-1,2-ジクロロエチレン			1,1,1-トリクロロエタン			1,1,2-トリクロロエタン			1,3-ジクロロプロペン		
	mg/l			mg/l			mg/l			mg/l			mg/l			mg/l			mg/l			mg/l		
項目	流入	放流A	放流B	流入	放流A	放流B	流入	放流A	放流B	流入	放流A	放流B	流入	放流A	放流B	流入	放流A	放流B	流入	放流A	放流B	流入	放流A	放流B
4月	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-
5月	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-
6月	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-
7月	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-
8月	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-
9月	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-
10月	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-
11月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
最高	<0.02	<0.02	<0.02	<0.002	<0.002	<0.002	<0.004	<0.004	<0.004	<0.02	<0.02	<0.02	<0.004	<0.004	<0.004	<0.3	<0.3	<0.3	<0.006	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.002
最低	<0.02	<0.02	<0.02	<0.002	<0.002	<0.002	<0.004	<0.004	<0.004	<0.02	<0.02	<0.02	<0.004	<0.004	<0.004	<0.3	<0.3	<0.3	<0.006	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.002
平均	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
測定回数	24	24	10	24	24	10	24	24	10	24	24	10	24	24	10	24	24	10	24	24	10	24	24	10
放流基準値	0.2			0.02			0.04			0.2			0.4			3			0.06			0.02		

項目 月	チウラム			シマジン			チオベンカルブ			ベンゼン			セレン			ふつ素			ほう素			アンモニウム化合物、亜硝酸化合物および硝酸化合物の合計					
	mg/l			mg/l			mg/l			mg/l			mg/l			mg/l			mg/l			mg/l					
単位	流入	放流A	放流B	流入	放流A	放流B	流入	放流A	放流B	流入	放流A	放流B	流入	放流A	放流B	流入	放流A	放流B	流入	放流A	放流B	流入	放流A	放流B	流入	放流A	放流B
4月	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	8.0	6.8	-			
5月	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	5.7	6.2	-			
6月	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	6.2	5.7	-			
7月	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	5.5	5.2	-			
8月	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	4.9	4.6	-			
9月	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	5.2	4.4	-			
10月	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	7.1	6.0	-			
11月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8.7	7.4	6.6			
12月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	6.9	6.6			
1月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	6.2	7.0			
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	7.4	7.6			
3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7.6	6.8	7.1			
最高	<0.006	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5	<0.5	<1	<1	<1	12	8.2	7.7			
最低	<0.006	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5	<0.5	<1	<1	<1	4.2	3.4	6.2			
平均	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7.6	6.1	7.0			
測定回数	24	24	10	24	24	10	24	24	10	24	24	10	24	24	10	24	24	10	24	24	10	24	24	10			
放流基準値		0.06			0.03			0.2			0.1			0.1			15			230			100				

項目 月	1,4-ジオキサン			ダイオキシン類		
	mg/l			pg-TEQ/L		
単位	流入	放流A	放流B	流入	放流A	放流B
4月	0	0	-	-	-	-
5月	0	0	-	0.15	0.00047	-
6月	0	0	-	-	-	-
7月	0	0	-	-	-	-
8月	0	0	-	-	-	-
9月	0	0	-	-	-	-
10月	0	0	-	-	-	-
11月	0	0	0	-	-	-
12月	0	0	0	-	-	-
1月	0	0	0	-	-	-
2月	0	0	0	-	-	-
3月	0	0	0	-	-	-
最高	<0.005	<0.005	<0.005	0.15	0.00047	-
最低	<0.005	<0.005	<0.005	0.15	0.00047	-
平均	0	0	0	0.15	0.00047	-
測定回数	24	24	10	1	1	0
放流基準値				10		

備考

1. 数値は各月の平均値である。
2. 各月の透視度の平均は、測定結果が100度を超えた場合、“100度”として算出している。
3. <0.0Xは報告下限値未満であることを示す。
4. 「最高」「最低」は年間の最高値最低値である。
5. 「平均」は月平均の平均値である。
6. 放流基準値の()内の数値は日間平均値を示す。

返送汚泥試験

A1系:擬似嫌気-好気法

項目	RSSS	RSVSS	有機分
	mg/l	mg/l	%
4月	5,660	4,620	81
5月	5,330	4,200	78
6月	5,940	4,700	79
7月	4,660	3,680	78
8月	4,090	3,220	78
9月	3,680	2,870	77
10月	3,490	2,780	79
11月	5,370	4,220	78
12月	5,290	4,280	81
1月	4,800	3,900	81
2月	5,610	4,570	81
3月	5,380	4,360	81
最高	6,810	5,450	82
最低	2,320	1,800	76
平均	4,940	3,950	79
測定回数	51	51	51

B1系:嫌気-無酸素-好気法

項目	RSSS	RSVSS	有機分
	mg/l	mg/l	%
4月			
5月			
6月			
7月			
8月			
9月			
10月	2,390	1,890	78
11月	4,530	3,720	82
12月	4,140	3,400	81
1月	4,640	3,860	83
2月	5,870	4,900	83
3月	5,340	4,400	82
最高	8,400	6,980	83
最低	2,300	1,860	77
平均	4,490	3,700	82
測定回数	24	24	24

A2-5系:嫌気-無酸素-好気法

項目	RSSS	RSVSS	有機分
	mg/l	mg/l	%
4月	5,410	4,474	82
5月	5,810	4,725	81
6月	6,230	5,145	82
7月	4,910	3,973	81
8月	4,530	3,695	81
9月	5,100	4,095	80
10月	4,620	3,755	81
11月	4,660	3,760	80
12月	5,530	4,540	82
1月	6,180	5,108	83
2月	6,770	5,613	83
3月	6,110	4,990	81
最高	9,340	7,440	85
最低	2,580	2,070	73
平均	5,490	4,490	81
測定回数	51	51	51

備考

1. 数値は各月の平均値である。
2. 「最高」「最低」は年間の最高値最低値である。
3. 「平均」は月平均値の平均値である。

エ. 脱水汚泥試験

(ア) 溶出試験

項目 月	アルキル 水銀	総水銀	カドミウム	鉛	有機りん	六価 クロム	ひ素	全シアン	ポリ塩化 ビフェニル	トリクロ エチレン	テトラクロ エチレン
単位	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l
5月	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01	<0.1	<0.05	0.03	<0.1	<0.0005	<0.03	<0.01
8月	検出せず	<0.0005	<0.01	0.01	<0.1	<0.05	0.02	<0.1	<0.0005	<0.03	<0.01
11月	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01	<0.1	<0.05	0.02	<0.1	<0.0005	<0.03	<0.01
2月	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01	<0.1	<0.05	0.02	<0.1	<0.0005	<0.03	<0.01
最 高	検出せず	<0.0005	<0.01	0.01	<0.1	<0.05	0.03	<0.1	<0.0005	<0.03	<0.01
最 低	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01	<0.1	<0.05	0.02	<0.1	<0.0005	<0.03	<0.01
平 均	検出せず	0	0	0	0	0	0.02	0	0	0	0
測定回数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4

項目 月	ジクロロメ タン	四塩化 炭素	1,2- ジクロロエ タン	1,1- ジクロロエ チレン	シス-1,2- ジクロロエ チレン	1,1,1- トリクロロ エタン	1,1,2- トリクロロ エタン	1,3-ジクロ ロプロペン	テトラム 	シマジン	チオベンカルブ
単位	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l
5月	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02
8月	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02
11月	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02
2月	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02
最 高	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02
最 低	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02
平 均	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
測定回数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4

項目 月	ベンゼン	セレン
単位	mg/l	mg/l
5月	<0.01	<0.01
8月	<0.01	<0.01
11月	<0.01	<0.01
2月	<0.01	<0.01
最 高	<0.01	<0.01
最 低	<0.01	<0.01
平 均	0	0
測定回数	4	4

備考

1. <0.0Xは報告下限値未満であることを示す。

(イ) 溶出試験(し渣・沈砂)

項目 月	検体種類	アルキル 水銀	総水銀	カドミウム	鉛	有機りん	六価 クロム	ひ素	全シアン	ポリ塩化 ビフェニル	トリクロ エチレン
単位		mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l
1月	し渣	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01	<0.1	<0.05	<0.01	<0.1	<0.0005	<0.03
1月	沈砂	検出せず	0.0017	<0.01	0.05	<0.1	<0.05	0.01	<0.1	<0.0005	<0.03

項目 月	検体種類	テトラクロ エチレン	ジクロロメ タン	四塩化 炭素	1,2- ジクロロエ タン	1,1- ジクロロエ チレン	シス-1,2- ジクロロエ チレン	1,1,1- トリクロロ エタン	1,1,2- トリクロロ エタン	1,3-ジクロ ロプロペン	テトラム
単位		mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l
1月	し渣	<0.01	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006
1月	沈砂	<0.01	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006

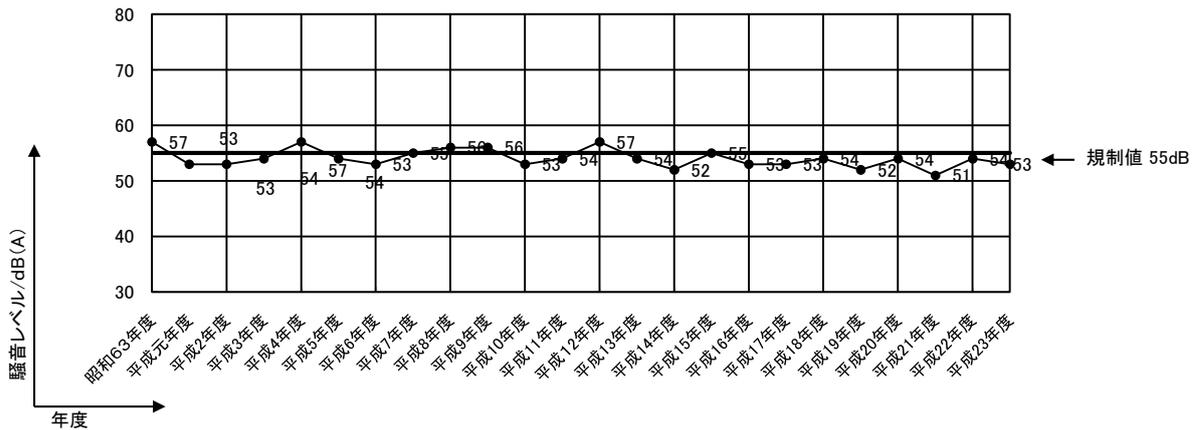
項目 月	検体種類	シマジン	チオベンカルブ	ベンゼン	セレン
単位		mg/l	mg/l	mg/l	mg/l
1月	し渣	<0.003	<0.02	<0.01	<0.01
1月	沈砂	<0.003	<0.02	<0.01	<0.01

備考

1. <0.0Xは報告下限値未満であることを示す。

(12) 周辺環境調査(北部浄化センター)

ア.騒音調査(夜間)



備考 1.各年度の最高値を表示(2地点×4回/年)
2.基準値は太線で表示

イ.悪臭調査

(ア)臭覚測定

項目	年度	S63	H.元	H.2	H.3	H.4	H.5	H.6	H.7	H.8	H.9	H.10	H.11	H.12	H.13
臭気指数									< 10	12	< 10	< 10	28	< 10	14
臭気濃度				< 10	< 10	< 10	< 10	< 10	< 10	< 10	< 10	< 10	630	< 10	23
臭気強度				1	< 1	< 1	< 1	< 1	1.3	1.5	< 1	< 1	4.5	< 1	2.5

項目	年度	H.14	H.15	H.16	H.17	H.18	H.19	H.20	H.21	H.22	H.23				
臭気指数		< 10	< 10	< 10	< 10	< 10	< 10	17	50	< 10	12				
臭気濃度		< 10	< 10	< 10	< 10	< 10	< 10	49	17	< 10	16				
臭気強度		< 1	< 1	< 1	< 1	< 1	< 1								

備考 1. 各年度の最高値を表示(5地点×6回/年)

(イ)機器試験

(単位:ppm)

項目	年度	S63	H.元	H.2	H.3	H.4	H.5	H.6	H.7	H.8	H.9	H.10	H.11	H.12	H.13
アンモニア		<0.1	<0.1	<0.1	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	0.1	<0.05	<0.1
メチルメルカプタン		<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0002	<0.0002	0.0059	0.0019	0.0042	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
硫化水素		<0.001	<0.001	0.001	<0.001	<0.001	0.180	0.300	0.033	0.008	0.001	<0.001	0.010	0.004	<0.002
硫化メチル		<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.0005	<0.0005	0.0017	<0.0005	0.0007	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005	<0.001
二硫化メチル		<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.0009

項目	年度	H.14	H.15	H.16	H.17	H.18	H.19	H.20	H.21	H.22	H.23				
アンモニア		<0.1	<0.1	0.1	0.2	0.2	0.4	0.2	<0.1	<0.1	0.2				
メチルメルカプタン		<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.0006	<0.0002	<0.0002	<0.0002				
硫化水素		<0.002	<0.002	<0.002	0.003	<0.002	<0.002	0.009	0.003	<0.002	<0.002				
硫化メチル		<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.002	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001				
二硫化メチル		<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009				

備考 1. 各年度の最高値を表示(5地点×6回/年)
2. 他に放流水中の悪臭4物質試験も実施しているが、全て報告下限値未満であった。

ウ.水質調査

(生活環境項目)

(単位:表示のないものはmg/l)

項目	年度	S63	H.元	H.2	H.3	H.4	H.5	H.6	H.7	H.8	H.9	H.10	H.11	H.12	H.13	環境基準
透明度(m)		2.5	0.6	1.7	0.7	1.5	0.9	1.5	0.9	1.5	1.2	1.3	0.3	1.0	1.8	—
pH		7.9-8.2	7.3-8.2	8.1-8.6	8.0-8.6	7.4-8.7	8.0-8.4	7.8-8.3	7.5-8.7	7.6-8.6	7.4-8.7	7.8-8.5	7.6-8.3	7.7-8.7	7.5-8.6	7.8~8.3
溶存酸素		5.2-9.7	4.1-9.1	6.6-9.7	6.7-13	4.8-12	5.3-11	4.4-8.9	6.3-11	6.3-13	5.1-12	5.3-11	6.1-8.4	7.1-11	6.4-9.8	5mg/l以上
COD		4.0	6.1	2.7	5.4	5.7	4.6	4.2	6.2	6.2	8.0	5.4	3.7	6.9	4.1	3mg/l以下
全窒素		0.67	1.40	0.55	0.74	1.40	1.60	1.70	3.10	2.50	6.30	1.60	1.50	1.90	2.53	0.3mg/l以下
全りん		0.080	0.130	0.060	0.094	0.220	0.099	0.230	0.210	0.071	0.064	0.099	0.063	0.095	0.331	0.03mg/l以下
n-ヘキサン抽出物質				<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	検出されないこと
塩素イオン		17,000	17,000	17,000	18,000	18,000	18,000	19,000	18,000	17,000	18,000	17,000	18,000	14,000	17,000	—
陰イオン界面活性剤		<0.05	0.06	0.05	<0.05	<0.05	<0.05	0.06	<0.05	<0.05	0.06	0.05	<0.05	<0.05	<0.05	—
大腸菌群数(MPN/100ml)		5,400	920	1,700	2,700	220	1,300	1,100	13,000	220	7,900	220	16,000	16,000	540	—
全亜鉛																—

項目	年度	H.14	H.15	H.16	H.17	H.18	H.19	H.20	H.21	H.22	H.23					環境基準
透明度(m)		1.2	1.0	1.0	1.5	2.5	2.0	1.5	0.9	0.8	1.1					—
pH		7.6-8.2	7.5-8.3	7.3-8.9	7.8-8.7	7.4-8.4	7.4-8.2	7.6-8.2	6.8-8.1	7.3-8.0	7.7-8.9					7.8~8.3
溶存酸素		6.6-9.2	4.1-10	5.5-13	5.2-11	4.8-7.3	5.8-10	3.9-9.6	3.8-9.2	4.5-8.8	2.4-12					5mg/l以上
COD		3.6	4.2	5.8	4.3	6.4	3.8	5.3	3.5	4.8	5.0					3mg/l以下
全窒素		2.91	1.95	1.90	1.10	1.80	1.40	1.90	2.0	2.5	1.7					0.3mg/l以下
全りん		0.181	0.117	0.120	0.092	0.170	0.130	0.150	0.15	0.22	0.170					0.03mg/l以下
n-ヘキサン抽出物質		0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5					検出されないこと
塩素イオン		16,400	17,000	16,000	17,000	18,000	17,000	16,000	16,000	16,000	19,000					—
陰イオン界面活性剤		<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05					—
大腸菌群数(MPN/100ml)		3,500	1,100	790	1,700	3,500	1,400	7,900	790	9,200	16,000					—
全亜鉛									0.026	0.025						—

- 備考 1. 他に健康項目26項目(平成12年度までは23項目)の調査(1地点×3回/年)を実施している。
 2. 放流口最寄地点における最高値(3地点×6回/年、但し透明度は最低値、pH・溶存酸素は範囲を記入)

エ.底質調査

(乾泥あたり含有量)

(単位:表示のないものはmg/kg)

項目	年度	S63	H.元	H.2	H.3	H.4	H.5	H.6	H.7	H.8	H.9	H.10	H.11	H.12	H.13
COD(mg/g)		15	35	6.6	17	9.2	17	4.3	10	9.1	7.4	8.7	9.6	9.0	13
n-ヘキサン抽出物質		710	490	440	280	660	<50	<50	89	89	<50	300	1900	240	340
カドミウム		0.32	0.21	0.13	<0.1	0.1	<0.1	0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	0.2
全シアン		<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1
鉛		24	25	13	25	18	15	17	9.3	9.2	12	14	14	14	21
六価クロム		<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1
全クロム		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
砒素		7.7	6.4	5.0	7.3	6.7	4.5	4.3	7.1	2.0	5.2	2.9	1.7	1.4	6.8
総水銀		0.12	0.18	0.05	0.18	0.13	0.10	0.17	0.07	0.14	0.09	0.12	0.11	0.09	0.10
アルキル水銀		<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
ポリ塩化ビフェニル		<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.05	<0.05	<0.05
全窒素 (mg/g)		0.57	0.88	0.56	1.4	1.1	0.88	0.90	0.48	0.45	0.50	0.86	0.87	0.70	1.1
全りん (mg/g)		0.40	0.46	0.34	0.38	0.47	0.21	0.52	0.72	0.68	0.05	0.09	0.07	0.03	0.34
硫化物 (mg/g)		0.29	0.12	0.19	0.65	0.19	0.72	0.26	0.26	0.21	0.32	0.30	1.60	0.60	0.24
含水率 (%)		34.0	51.0	31.0	33.0	32.0	29.0	30.0	23.0	25.0	24.0	26.0	29.6	29.8	36.6
強熱減量 (%)		6.0	5.8	3.0	6.1	5.2	4.4	4.2	3.7	3.8	3.3	3.9	4.4	3.9	5.1

項目	年度	H.14	H.15	H.16	H.17	H.18	H.19	H.20	H.21	H.22	H.23				
COD(mg/g)		6.0	6.4	7.0	14.0	14.0	9.0	9.0	12	13	13				
n-ヘキサン抽出物質		100	140	430	900	710	590	590	810	200	290				
カドミウム		<0.1	0.2	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	0.1	0.5	<0.1	<0.1				
全シアン		<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1				
鉛		22	19	16	19	22	14	18	19	16	14				
六価クロム		<1	<1	-	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1				
全クロム		-	-	11	-	-	-	-	-	-	-				
砒素		8.1	6.6	5.1	3.5	4.3	5.4	5.6	8.0	7.3	6.9				
総水銀		0.07	0.10	0.08	0.09	0.07	0.08	0.10	0.09	0.06	0.08				
アルキル水銀		<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05				
ポリ塩化ビフェニル		<0.05	<0.05	<0.05	0.01	<0.05	<0.01	0.01	<0.01	<0.01	<0.05				
全窒素 (mg/g)		0.70	0.80	0.70	1.2	0.60	0.90	0.90	1.3	0.80	0.70				
全りん (mg/g)		0.81	0.97	0.40	0.40	0.40	0.50	0.40	0.50	0.40	0.40				
硫化物 (mg/g)		0.89	0.44	0.62	0.17	0.42	0.28	0.20	0.22	0.15	0.05				
含水率 (%)		28.4	29.9	32.0	35.0	32.0	32.0	34.0	32.0	31.8	28.8				
強熱減量 (%)		3.9	5.0	3.9	5.6	4.3	3.8	4.7	4.6	4.1	3.8				

- 備考 1.他に溶出試験として7項目を実施しているが、放流口最寄地点で全て報告下限値未満であった。
 2.放流口最寄地点における値(3地点×1回/年)